

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2000

文化通

夏

6月1日発行(季刊)



平成12年4月屋島源平合同慰靈祭にて
舞を奉納される吉村雄輝園先生

特集 晴松亭・美藻庵おかげさまで三周年
好評連載「Oh! 茶Gai!」
六月から八月までの茶華道・イベント情報を掲載

晴松亭・美藻庵

おかげさまで三周年



財団主催の月釜について

中條文化振興財団の茶室晴松亭・美藻庵が完成し、茶事のできる貸茶室としてご利用頂けます。この間貸茶室や財団主催の月釜等でご参加下さいました方は延べ一七五〇〇名。貸茶室として多様なご趣好で楽しんで下さる方も、年々増えています。

「石の上にも三年」の言葉通り三年というのはひとくぎり、今後ともご利用頂く皆様に少しでも喜んでいただけますよう努力してまいる所存ですので、ご指導、ご鞭撻の程お頼み申し上げます。

貸茶室について

貸茶室の利用日数は、三年間で延べ二五日。人数は一二二〇〇名ありました。

貸茶室の利用日数は、三年間で延べ二五日。人数は一二二〇〇名ありました。

財団の茶室晴松亭・美藻庵は、茶の湯は「茶事にあり」ということで、茶事を行う上で亭主側の立場や迎えられるお客様の使い勝手を考えて建てられています。本来の茶事は、亭主が招く一、三名のお客様をもてなすのですが、財団の茶室では、小間と広間を移動することで一度に十五名くらいまでの茶事もできます。月釜でよく実施します茶事形式の茶会ですと一席約二時間半で一日八席、百二十名位までの茶会が可能となります。もちろん流派は問いません。ご利用頂きました皆様からも水屋で手伝う時の使い勝手もよく、冷暖房設備が助かると好評を得ているようです。季節感を大事にする茶事を行う上で冷暖房が良いのか判断に

迷うところですが、やはり快適である事が当然とされる昨今それは必要なことと思います。また、これも当り前の事ですが、炭火が使用できる事も特徴のひとつに上げられます。

さて、茶事本位に設計された晴松亭ですが、一般的な大寄せの茶会にもご利用頂けます。本格的な数寄屋建築で行う茶会は、非日常的な空間の中での心地よい緊張感を演出できるようです。

もちろん茶室の利用のされ方は自由ですでの茶会等に限らず、お稽古や、茶の湯を通じての親睦会や研究会等にもご利用頂けます。また、晴松亭にはイスのようにお座り頂ける立札席も併設しておりますので、外国の方をお招きしての国際交流等にもご利用下さい。



又、朝茶事や夜咄し等の場合には、茶事の時間に合わせて開館いたしますので遠慮なくご相談下さい。

「私等はまだ未熟で貸してもらえないと思った」「財団の月釜は勉強した人でないと行けないと云われた。」とか、とかく敷居がたかいお話しを伺います。お気軽に楽しめ下さいまして茶の湯の文化のお役に立てればと願っています。

もちろん茶室の利用のされ方は自由ですでの茶会等に限らず、お稽古や、茶の湯を通じての親睦会や研究会等にもご利用頂けます。また、晴松亭にはイスのようにお座り頂ける立札席も併設しておりますので、外国の方をお招きしての国際交流等にもご利用下さい。

貸茶室の使用料金は、茶の湯を後世に残す日本の伝統文化と位置づけ、その助成の為に、全室一日で三万円としています。(冷暖房は別途)部分貸しや、時間貸し、

財団の月釜は、完成間もない茶室の存在を知つて頂くことと、その機能をご紹介するため各流派の先生方に席主をご依頼する形で実施致しました。お客様にも、流派を問わず、より広く多くの方々に茶の湯に触れて頂きたい。そんな思いでスタートした財団の月釜は三年間で二〇回、約二六〇〇名の方にご参加頂きました。席主をお引き受け頂いた先生方には大変お世話になり本当に感謝にたえません。初めて使う茶室、点心席のある茶事形式の茶会ということで、それぞれ季節に合わせて趣向を凝らして頂いて、各席がそれに新しい使い方のモデルケースとなりました。お忙しい中、点心の試食会等何度も打合せに足を運んで頂きながらひとつひとつ実現致しました。また、先生方と共に裏方でご協力頂いたお社中の方々も五〇〇名を越えています。多くの方々に支えられての月釜ですが、流派を超えてご参加下さる方が最近意外と少なくなつたのが残念に思われます。

話は少しずれますが、戦後のある時期、一度は忘れていた茶道が少しずつ復興してきた昭和二〇年代後半頃には、高松でも茶事を中心とした茶会が多く開かれ、稽古も流派にとらわれずに一緒に開かれた時期があつたと聞きました。復興期の一時は現象だったのかもしれませんのが、自由な世界で本当に楽しそうなのが印象的でした。現代の若者世代にあって

も、茶道のニーズは十分にあるとは思いますが、現実的に習い始めたりする人は以前に比べてかなり減っているようです。興味があるても外からみてその楽しさがわかりにくことが一因ではないかと思えてなりません。正式にお茶を習つたことのない方も、一度ためしにご参加下さればと願っております。

月釜の記録を並べて思い返してみますと流派によつて作法や点前に違いはあつても、もてなしの心や演出は自由で、個性あふれるこだわりの席が多く、ご参加下さつた方々にも一期一会を楽しんで頂けたようになります。

今後ともさらに楽しい月釜や茶会企画してまいりたいと思いますが、意見ご希望又月釜を担当して下さる方もご遠慮なくお申越下さいませ。

平成十一年度月釜

四月二五日 江戸千家 行弘宗春先生
五月 九日 裏千家流 中村宗敬先生

七月一五日 武者小路千家官休庵 芳野有俊宗匠



十月一四日 デコ人形「香翠座」
裏千家流 山本佳世子先生

十一月一八日 表千家流 三好三千子先生

一月 八日 財団茶の湯委員会 真辺敬子先生

二月二〇日 武者小路千家官休庵 赤羽根一男宗匠

古市敏子先生

一月 八日 財団茶の湯委員会 高橋先生の元気印と共にますます楽しい講座に、毎回作つたお菓子でお茶を一服。

二月二〇日 武者小路千家官休庵 参加ご希望の方はご連絡下さい。

赤羽根一男宗匠 講座に、毎回作つたお菓子でお茶を一服。

古市敏子先生 参加ご希望の方はご連絡下さい。

赤羽根一男宗匠 参加ご希望の方はご連絡下さい。

和菓子講座
日時 平成十一年四月～十一月の全八回

講師 高橋初乃先生
日時 平成十一年四月～十一月の全八回



文化講演会

「クラシックは一期一会」

講師 岡田 寛先生

日時 平成十二年三月二三日



文化講演会

「クラシックは一期一会」

講師 岡田 寛先生

日時 平成十二年三月二三日

どこに座れば

いいのでしょうか

ここに座つても

いいのでしょうか

複数の人とタクシードラライブには視野の広い助手席が快適そうです。また、後部三人掛けの車内中は座りにくいイヤな席ですが、上席の人に続くようでは気がひけます。後シートに三人は窮屈、せめて太目の私が遠慮と気を利かすと、自分だけ余裕の助手席に座つたように見えます。その都度言い訳がましい言葉も暑苦しいもので黙つてしまふのですが、目的地に着くまで時間の長いことです。

その点、茶室での席順は理にかなつて分かりやすいものがあります。正客席は一座を代表して亭主と話しますから経験の深い人、詰の席も道具扱いに慣れた人でなければ勤まりません。初心者には中程の席が無難そうです。

見どころは

どこでしょ

昨年、連続三回開かれた当財団の学術文化振興特別助成金事業「あ・うんの数寄講座」で司会をされた、斎藤裕氏が撮られた栗林公園の掬月亭の写真を見て驚いたことがあります。床の間を背にして南湖を見たアングルですが、部屋を取り囲んだ廊下の手すりが舟べりのようで、満々と水をたたえた池に浮ぶ一隻の舟に乗つて「今宵ひとときの舟遊び」というコピ



通りの構図です。

座敷の上席は床の間を背にしますが、折角の床飾りのしつらいがみえません。しかし、書院や座敷からの庭の眺めは、そこから一番美しく見られるとか。この部屋は茶会の時ばかりで、言うなれば「部屋を見に行く」のではなく、「部屋を使いに行く」わけです。ここで催される大寄席（およせ）の茶会に券を買って、一菓一茶のもてなしを楽しむひとときを過ごす部屋なのです。あの写真でカメラを構えたところは、正客か、それに続く人の席。一同の代表として亭主と向きあう席に未熟

た茶室のうちで「大茶屋」と呼ばれ、部屋の配置から「北斗館」ともいわれた掬月亭は、唐の詩人千良史の「春山一夜」の一節、「弄花香満衣・掬水月在手」にちなんでの命名です。みやびを好んだ松平家は千宗守（官休庵）を茶頭に迎え、ここで催された殿様の茶事の記録も数多く残っています。

やがて、月こうこう中空にさえ、南湖に突き出た座敷から美酒に酔つた身を乗り出せば、湖面に浮かぶ月も掬（すく）えそうです。斎藤裕氏の写真を眺めながら、なるほど、ここからの眺めが一番の見せ場と痛感しました。しかし、何度も行つた掬月亭で、こんな見方はしたこと�이ありません。地元にて本来の見どころも分からず、なんて間抜けたことだらうと不勉強を恥ずかしく思いながら、なぜか不思議な気持が残りました。

よく考えてみると、掬月亭に行くのは

行事予定（六月～八月）	
中條文化振興財団	文化意識啓発事業
数寄屋と伝統文化（その二）	吉村雄輝園
とき 平成十二年六月十七日（土）	夏の女の爛漫なる美を舞う —地唄 葵の上—
場所 中條文化振興財団茶室 晴松亭	失われかけている日本の女性の持つ美しさが、舞の世界に伝えられ、その中にもし出される秘めたものにふれて見て下さい。
内容 一、地唄 葵の上	
定員 全二席 各三〇名様	
席料 一、煎茶席	
主催 第一席 午前十一時より	
席料 二、五〇〇円	
主催 中條文化振興財団	
長谷川弦ギター演奏会	
「ブエノスアイレスの四季」	
とき 平成十二年八月三日（木）	
場所 中條文化振興財団茶室 晴松亭	
出演 長谷川 弦	
解説 岡田 寛	
席料 二、〇〇〇円	

Oh! 茶Gai!

その④



転職をきっかけにお茶を習い始めたという田尻久美子さん。好奇心が強い方なので、習い事は色々やつたそうです。特にバレーボールは中学時代からつい最近まで続けていたそうです。「前の会社にいる時は毎日仕事もプライベートも忙しくて心の落ち着く暇がなかつたんです。」そんな彼女が今の先生の所に通い始めたのは、友達に誘われたからだそうで、特にお茶が習いたかったというよりも、「静かな時間が過ごせそう」そんな軽い気持ちからだったとか。そして「もともと体を動かすのが好きだったので、続くかな?と思つてました」でも今では日常とは違うその空間が、ものすごく大切な時間になつてはいるそうです。動物占いでは孤独好きで、変わり者の「狼」タイプの彼女、「今は癒しモードかな?」と言つてますが、まだまだアクティブに自分探しを続いているようです。

喫茶居(四) 「桜見の野点」

「世の中の絶えて桜のなかりせば、春の心はのどけからまし」。在原業平ならずとも桜の開花が気になり、咲けば咲いたらで雨や風に心が悩まされるもの。高松市街が一望できる峰山にあるYさんの山荘で、野点の茶会がありました。山道をもう少し上ると、全国でも珍しい積石塚古墳があります。坂あがりに少しづつ季節が流れ、連翹や桃の花が残り、木蓮もまださかりの風情。

待合には、道中にそれを満喫した客の心を言い当てて、「百花繚乱」のお軸。遊歩道沿いの桜が借景の庭のお席で、お薄



を一服をいただきました。時間のたつのは早く、夕暮れた薄闇の中に淡い桜の花が色を増して大きく浮き出て、寒さも忘れて見とれてしまいます。

桜は明くる日の雨で惜し気もなく散つてしまい、それだけに昨日の花の印象が強く残りました。

藩政時代には部屋に入るのも容易ではなかつたでしょうし、あの場所に座るなどと思ひもよらないこと。たとえ、殿様から「近こう寄れ」なんてお声をいただいても恐れ多くて、とても膝を進められなかつたでしょう。あの光景を目にすることができるのは殿様か、正客。どちらも席中第一の人物です。私に想像がつかないのも道理です。

よく似た仏様の話があります。慈悲深い姿のお寺の仏像が一番美しく見えるのは、香華をたむけてお経を唱える座だといわれます。お灯明の揺れる明かりの中で見あげる仏様と、ライトを当てて芸術作品を鑑賞するような見方では、印象がずいぶん違つて見えることでしょう。

見せたいものが一番きれいに見えるところ。建築物の中で建築家の斎藤裕氏は即座にそこを見抜いたのでしょうか。お城(別荘)の庭の景色が殿様のお好みに作られているとしたら、そこに座つて殿様の気分になつて見るのも一興。

あなたも一度、「今宵ひとときの舟遊び」の席に座つてみてはいかがですか。

(右頁より続く)

な私が勤まるわけもなく、あの場所に座つたことはありません。また、茶会が終了して、大勢の人が一時に入れ替わる座敷の中で、一直線に池を見渡して楽しむ時間も空間もありませんので、あのアングルを見て、大勢の人が一時に入れ替わる座敷の中を見た記憶がなかつたことに気付きました。

見せたいものを見せたいように

長谷川 弦氏プロフィル
一九五二年、埼玉県行田市生まれ。
武藏大学人文学部卒業。
ギターを本間良博氏、ビオラを嶋田英康氏に師事。
現在、オーストリア・アイゼンシュタット市在住。同市は、一九九三年志度町と姉妹縁組みを締結している。
ハイドンが最も長く住んだ街として知られ、その極も市内のベルク教会に安置されている。香川日壇協会では毎年この街で開催されるハイドン国際音楽祭に、親善使節団を派遣し、交流を重ねている。長谷川弦氏は二〇年来この町に住み、音楽院の教師をしている唯一人の日本人。昨年、盟友ギタリストのファビオ・モンテイロ・シロー氏とデュオ・ギター演奏で日本各地を巡演した。



すべて予約制(時間指定)となります
お申し込み、お問合せは、

当財団事務局まで
☎(087) 826・3355

茶 華 道 ガ イ ド

表千家同門会香川県支部 ☎(087)874-0458

7/9 表千家流四季茶会 本覚寺別院 9:00~ ●

淡交会高松支部 ☎(087)831-0687

6/4 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●

7/2 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●

8/6 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●

華道家元池坊香川県連合支部 ☎(0877)22-7203

7/16 池坊講習会 丸亀市民会館 9:00~ ●

武者小路千家 香川官休会 ☎(087)851-2258

6/4 6月月釜 席主:佐々木博子 本覚寺 ●

7/2 7月月釜 席主:大浦ユキノ 本覚寺 ●

8/6 8月月釜 席主:山地久子 本覚寺 ●

官休庵 佐々木博子社中 ☎(087)821-8777

7/2 第6回学生釜(ゆかた茶会) 中條文化振興財団 9:00~ ●

イベントガイド

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

~6/11 第65回香川県美術展覧会 前期展
洋画・彫刻・工芸 9:00~ ●

6/17~7/2 第65回香川県美術展覧会 後期展
日本画・書・写真 9:00~ ●

~6/11 Face-20の視点 9:00~ ●

6/17~7/9 館蔵品による東山魁夷展 9:00~ ●

7/15~8/6 アートバラダイス「花を探そう」 9:00~ ●

8/12~9/3 アートバラダイス「鳥と遊ぼう」 9:00~ ●

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

8/12~9/24 山田地区の文化財展 ●

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

6/3 文学講座「石川啄木とその時代」 13:30~ ■

6/10~7/23 第9回文学展「石川啄木展」 9:00~ ●

6/25~12/10 シナリオ講座(全12回) ●

7/1 文学講座「中皇帝と額田王」 13:30~ ■

7/2 記念講演会「啄木の文学と生涯」 14:00~ ■

8/5 文学講座「讃岐の女性③」 13:30~ ■

高松市美術館 ☎(087) 823-1711

6/2~7/2 「レンブラント版画展」 9:00~ ●

8/3~9/3 これでいいのだ!赤塚不二夫展 9:00~ ●

高松市立市民会館 ☎(087) 839-2888

6/1 ミュージカル「美しいムーミン一家」 10:00~ ●

6/11 高松市民吹奏楽団定期演奏会 14:00~ ●

6/24 香川二期会合唱団定期演奏会 18:30~ ●

7/9 藤間春元弥一門会夏のおどり 10:00~ ●

7/13 東儀秀樹コンサート 19:00~ ●

7/20 南昌市少年宮公演 13:00~ ●

7/22 ブラウエンコール・かがわ定期演奏会 18:30~ ●

8/27 第27回さぬき民謡まつり 9:00~ ●

セントラルホールウイング ☎(087) 833-0005

8/27 第14回高校生音楽祭 13:00~ ■

オリーブホール ☎(087) 861-0467

6/13 ミッセルガルエレファント ライブ ●

8/7 Bonnie Pink ライブ ●

玉藻公園 ☎(087) 851-1521

6/4 第17回英公様追悼遊泳祭 10:00~ ●

7/2~8/27 菊作り講習会 9:30~ ●

ミュースホール ☎(087) 833-0013

6/4 日本の響 箏CONCERT 13:00~ ●

6/10 現代舞踊協会かがわ合同公演 14:30~ ●

6/23 朝日上方落語 桂米朝一門会 18:30~ ●

7/9 オリーブ児童合唱団定期演奏会 13:30~ ■

8/30 TEENS' MUSIC FESTIVAL2000 15:00~

香川県県民ホール ☎(087) 823-3131

※グランドホール 6/4 高齢者福祉と介護を考える映画 14:00~ ●

6/10 フォーク大全集 6/11 ~南こうせつとアコースティック・フレンズ~

公開録画 18:45~ ★

6/11 SOPHIAコンサート 18:00~ ●

6/13 トロカデロ・デ・モンテカルロバレエ団 19:00~ ●

6/17 高松交響楽団定期演奏会 18:00~ ●

6/18 自衛隊高松定期演奏会 16:00~ ★

6/20 大花劇団「夫婦善哉」 14:00~ ●

6/28 上海雜技団「百戯春秋」 18:30~ ●

7/4 小田和正コンサート 18:30~ ●

7/7 レイモン・ルフェーヴル・

グラントオーケストラ 19:00~ ●

7/8 徳永英明コンサート 18:00~ ●

7/9 二人のビッグショウ 八代亜紀&千昌夫 14:30~ ●

7/11 武蔵野音大ウインドアンサンブル 18:00~ ●

7/14 ミュージカル李香蘭 18:30~ ●

7/15 藤井フミヤコンサート 18:30~ ●

7/20 鈴木あみコンサート 18:30~ ●

7/30 テレビ文香の演歌宅配便スペシャル 13:00~ ●

8/6 スーパー雑技チャリティー公演 14:00~ ●

8/13 高松商業高等学校吹奏楽部定期演奏会 17:00~ ■

8/15 高松北高等学校吹奏楽部定期演奏会 19:00~ ■

8/19~20 全日本吹奏楽コンクール四国支部大会 10:00~ ●

8/26~27 全日本おかあさんコーラス全国大会 10:00~ ●

8/29 島倉千代子コンサート 18:30~ ●

8/30 郷ひろみコンサート 18:30~ ●

※アクトホール 6/3 高松混声合唱団定期演奏会 18:30~ ●

6/11 片山雅史佑と邦楽アンサンブル煌 13:00~ ●

6/20 THE CONVOY SHOW 19:00~ ●

6/25 トリムフェスティバル香川 13:00~ ■

7/14 ふるさとコンサート 18:30~ ★

7/25 大阪芸術大学特別演奏会 15:00~ ●

7/23 第4回能楽鑑賞講座 14:00~ ★

7/25 椎名へきるコンサート 18:30~ ●

7/26 高松 ジュニア・フィルハーモニック・

オーケストラ定期演奏会 14:00~ ●

8/6 二期会オペラ公演 18:00~ ●

8/20 '' 14:00~ ●

三越高松店 ☎(087) 851-5151

~6/4 世界のおりがみ展 ~宝島シリーズ~ 10:00~ ●

~6/5 二代・初代 柳海剛作陶展 10:00~ ■

6/6~12 斎精銳作家新作展 10:00~ ■

6/13~18 2000年美術特選展 10:00~ ■

6/13~19 蔽内作斗司新作展 10:00~ ■

6/20~26 森丁斎作陶展 10:00~ ■

6/27~7/2 三越友の会文化教室展示会 10:00~ ■

6/27~7/3 宮内美代子ビスクドール展 10:00~ ■

7/4~10 第5回新工芸家連盟四国会展 10:00~ ■

7/11~17 孫家珮油彩展 10:00~ ■

7/18~24 安食ひろ作陶展 10:00~ ■

7/25~31 ガレ・ドーム アンティークテーブルウェア ■

8/1~6 トリックアート展 10:00~ ●

8/1~7 井上勝彦油絵展 10:00~ ■

8/8~14 期末特別版画展 10:00~ ■

8/15~21 期末特別日本画・洋画 10:00~ ■

8/22~28 チャリティー作品展 10:00~ ■

8/29~9/4 松岡政信日本画展 10:00~ ■

四国ガス生活館ビボット ☎(087) 821-0248

6/8 園芸教室 13:00~ ●

6/23 国際ホテルOBシェフに習う 10:00~ ●

「素材を生かしたオシャレクッキング」

6/24 子供クッキング 10:00~ ●

7/5 はがき絵(俳画)講習会 13:00~ ●

7/22 子供クッキング 10:00~ ●

8/11~12 親子参加のパン教室 10:00~ ●

8/18~19 親子参加のケーキ教室 10:00~ ●

8/23~24 親子参加の料理教室 10:00~ ●

ヨンデンプラザ高松 ☎(0120)373-168

~6/4 雲上の神々展 ギャラリー

6/9~10 蜜まつり ギャラリー

6/13~15 なが月会 かな書道展 ギャラリー

6/20~25 研陶酔会作品展 ギャラリー

6/27~7/2 讀岐工芸展 ギャラリー

6/15~29 「夏はIHママサマ」 12:00~

6/6~13 IHでつくる世界バスタメぐり 12:00~

6/7~14 IHでスープづくり 12:00~

6/8~9 ふれあい新鮮市 & 10:30~

旬の野菜で超簡単クッキング

6/10~11~24 でんきDEクッキングショー 11:00~・14:00~

10日トーキー&クッキング

11日ウエディングケーキ 12:00~

24日イタリアンパスタ 13:00~

6/20~27 IHでつくる世界バスタめぐり 12:00~

6/21~28 IHでスープづくり 12:00~

6/22~23 ふれあい新鮮市 & 10:30~

旬の野菜で超簡単クッキング

イベントガイド

丸亀市教育委員会 ☎ (0877)24-8826

7/15~23 第65回香川県美術展覧会受賞作品展
丸亀市立資料館 9:30~ ■
8/19~9/3 大西康彦彫刻展
丸亀市立資料館 9:30~ ■

丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8826

8/12~13 盆おどり大会 市民ひろば 18:00~ ■
丸亀市立資料館 ☎ (0877) 22-5366

~6/18 『浮世絵展』 9:30~ ●
7/22~8/27 『結び』展 9:30~ ●

丸亀市民会館 ☎ (0877) 23-4141

6/3 Something ELseコンサート 18:30~ ●
6/4 里見浩太朗全国縦断特別公演
13:00~・17:00~●
6/11 トリオロス・パンチヨスコンサート
18:30~ ●
7/5 美川憲一コンサート 14:00~18:00~●
7/10~12 ミュージカル鑑賞教室
10:30~・13:30~●
7/14 第49回市民夏季大学講座 18:15~●
7/18 十五代片岡仁左衛門襲名披露
13:00~・17:30~●
7/22~23 スタインウェイピアノリーコンサート
9:30~・13:00~ ■
8/12 丸亀城西高校吹奏楽部演奏会 18:30~ ■
8/13 坂出高校吹奏楽部定期演奏会 14:00~ ■
8/20 藤間幹弥おどりの会 10:00~ ■

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877) 24-7755

~7/29 建築からグラフィックまで 10:00~ ●
8/5~9/3 中山ダイスケ展「フル・コンタクト」
10:00~ ●
8/5~10/15 猪熊弦一郎展 丸の言葉 10:00~ ●
8/12 ワークショップ「ぼく対ぼく わたし
対わたし」 詳細未定

坂出市民ホール ☎ (0877) 45-1505

7/1~2 第17回坂出市民大学夏期講座 ●
7/30 ティーンズ・ミュージック・フェスティバル
親子まんが映画会 ●
8/4 坂出大橋まつり前夜祭 ■
8/20 吟剣詩舞選手権大会 ■

多度津町民会館 ☎ (0877)33-3330

7/2 第10回セカカラオケコンサート
10:00~ ■
7/22 桂三枝バラエティショー
15:00~・19:00~ ●
8/4 たどつ夏まつり前夜祭 19:00~ ■
8/6 善通寺第一高校 定期演奏会 13:30~ ●
8/17 森山良子アコースティックコンサート
ツアーフー 19:00~ ●

観音寺市民会館 ☎ (0875)23-3939

7/9 県民謡連合会夏祭り ■
7/23 劇団飛行船公演 ●
7/29~31 全日本吹奏楽コンクール香川県大会 ●
8/4~5 観音寺ジュニア音楽コンクール ■
8/6 00'ティーンズミュージックフェス
ティバル ●
8/9 第39回観一サマーコンサート ●
8/13 高瀬高校サマーコンサート ■
8/20 西村直記シンセサイザーコンサート ■

仁尾町文化協会 ☎ (0875)82-2143

8/4 仁尾雨乞い竜まつり前夜祭
仁尾町勤労者体育センター 18:00~ ■
8/5 仁尾雨乞い竜まつり総踊り大会
仁尾町仁尾浜地区 17:50~ ■
8/12~16 仁尾町文化協会美術部展
仁尾町公民館 9:00~ ■
8/26 納涼盆踊り大会
仁尾町立平石幼稚園 19:30~ ■

詫間町教育委員会 ☎ (0875)83-8809

8/27 新・邪馬台国連合 in たくま
マリンウェーブ

仲南町教育委員会 ☎ (0877)77-2882

7/8 心の映画祭 町民文化ホール 19:00~ ●

飯山村文化協会 ☎ (0877)98-7961

7/3~15 清風会作品展 別館 8:30~ ■

長尾町文化協会 ☎ (0879)52-2301

6/4~11~18 ショウブまつり 龜鶴公園 ■
7/31 宇佐神社 形代ながし(短歌会) 19:00~ ■

牟礼町教育委員会 ☎ (087)845-2124

7/8 デリバリーアーツ事業
サヌカイト演奏会 石の民俗資料館 19:30~ ■

町立塩江美術館 ☎ (087)893-1800

6/6~18 ホタルの里フォトコンテスト作品展
9:00~ ●
6/10 ホタルの里ミュージアムコンサート
14:00~ ●

8/1~9/3 全国子ども秀作絵画展 9:00~ ●

三木町文化交流フラザ ☎ (087)898-9222

6/10 N響メンバー“珠玉の室内楽” 2000
18:30~ ●
7/1 坂本冬美歌謡コンサート
14:00~・18:00~ ●

大内人形劇場 とらまる座 ☎ (0879) 25-0400

6/10~11 人形劇団どむならん
てんぐとかっぱとかみなりどん
10日13:30~ 11日10:30~・13:30~ ●
7/29~30 げきだん はてな

おきらくDEシヨー「ブッタマン誕生」他
29日13:30~ 30日10:30~・13:30~ ●

8/6 香川県内アマチュア劇団
夏休み人形劇祭 10:30~・13:30~ ●

8/12~15 パペットシアターらせんくらぶ
ゴリゴリ、ゴリくん 他
12・14・15日13:30~ ●
13日10:30~・13:30~ ●

8/26~27 人形劇団 バン
影絵でおはなし さるとかに
26日13:30~ 27日10:30~・13:30~ ●

絵と和紙&お香の店 美翠 ☎ (0877)23-6350

6/23~30 絵手紙展 10:00~ ■
7/11~16 源氏物語にみるグッズ展 10:00~ ■

立正大学同窓会香川県支部 ☎ (0877)28-8748

6/25 公開文学講座「日蓮の生涯」
香川県文化会館 14:00~ ■

灸まん美術館 ☎ (0877) 75-3000

6/2~6 宮本修山 木彫展
6/9~13 勝賀瀬寛 窯出し展
6/16~20 中黒光紀・中井弘二郎 二人展
6/23~27 大西葉子・佐藤君枝 日本画二人展
6/30~7/4 貞廣裕子 第2回あそぼうよ展
7/7~11 三好厚男 作陶展
7/14~18 中村修二ガラスのエッチング展
7/21~25 ナチュラルの風がふく作業所と
なかまたち展
7/28~8/1 27人の夢工房展
8/4~8 上田達生・岩田健三郎 二人展
8/11~22 CREATION WAVE OO ”
8/25~29 木内千鶴子の世界ファンタスティック
アート展

石の店山田ストーンミュージアム ☎ (087)871-2200

~6/30 第10回石の彫刻展 9:00~ ●

あーとらんど ギャラリー ☎ (0877)24-0927

6/3~25 岡田真宏展 10:00~ ■
6/15~28 ザ・グラス・スタジオガラス工房展 10:00~
7/1~23 2000様々な邂逅展 I 10:00~■
7/1~16 有岡成員展 木の姿 III 10:00~■
7/22~8/27 素晴らしい出会い展 10:00~■
8/5~9/3 太田道夫展 10:00~■

イシハラ・ヴァイオリン・スタジオ ☎ (087)833-0370

7/13 石原崇子ヴァイオリン リサイタル
Vol. II 高松テルサ 18:30~ ●



ヴァイオリン リサイタル Vol. II

2000年7月13日(木)

高松テルサ 7:00pm開演(6:30pm開場)

〈一般〉前売り 2,500円・当日 3,000円
〈学生〉前売り 1,500円・当日 2,000円

◆プロフィール／石原崇子

香川県高松市出身。桐朋学園大学音楽部卒業、94年イギリス・ロイヤルノーザン大学にて演奏家資格デュプロマを取得。エリックニコルソン賞を授与される。現在、大阪シンフォニカーオーケストラのヴァイオリン奏者であり、大阪・四国地域で後進の指導にあたる。



特別寄稿

平成十一年度助成金対称事業となりました「香川県話し言葉研究会」(大内町)の島田先生より寄稿頂きましたのでご紹介致します。同会は、香川県東部島嶼(小豆島・直島・女木島・男木島)における方言の語法とアクセントの調査を行い調査報告書を作成、各町図書館・大学等に寄贈されました。

助成をいただいて

香川県話し言葉研究会

主幹 島田 治

この度、私どもの拙い『香川県東部島嶼の方言』が中條文化振興財団の学術助成を戴き刊行することができました。

この調査にご協力いただいた多くの方々を始め、市町村、国会図書館、国語研究所など三〇〇か所に無償配布し、お礼のお便りを頂戴し感激一人です。言葉の調査はその地方の歴史と風土を知る上で不可欠です。調査は何と言つても協力者(被調査者)が必要であり、かなりの時間を要します。それだけにその調査結果はなんとしても一冊の本に纏めたいもので

小豆島、直島などをお邪魔して、讃岐本土との温度差そして島々のアイデンティティに触れることが出来ました。

そしてこの調査報告書の刊行前後に共同研究者の中井幸比古が二か年に亘る学術研究が認められ栄える『金田一京助賞』を受賞しました。この研究もその一端を担つてることを、『報告したいと思います。私たちの研究は引き続き『大川郡地名の音訛とアクセント』に取掛かります。中條財団の皆様に心より御礼申し上げますと同時に引き続きお力添え賜れば幸せです。

『香川県東部島嶼方言における語彙・語法の変容について』

島田 治 著

香川県の島々は島ごとに、さらに同じ島でも集落ごとに言葉が違う。四国方言と中国方言が複雑に交錯したためでもあり、島・集落ごとに独自の伝統・文化を花開かせた結果で、特にアクセントの面では日本全体でみても独自で大変貴重なものもあった。

同書をご希望の方に差し上げます。希望の旨をお書き添えの上官製ハガキにてお申し込み下さい。抽選で五名様まで、期日は六月末までとさせて頂きます。

平成十二年度

財団賞候補者(団体)の募集がメ切近くなりました

選考規定

①県内在住者及び本県出身者。
地域文化の振興に貢献した個人

及び団体で十五年以上の活動歴

を持つこと。

②県下各市町の教育委員会及び市町の文化協会等からの推薦を必要とする。

③毎年二名(団体)以内

④財団賞と奨励金二十万円

⑤申請書類締切日

平成十二年七月三十一日

⑥申請先

(財)中條文化振興財団

高松市番町二丁目一一一二

☎(087)826-3355

編集後記

わずか八ページのこの文化通心。

春夏秋冬・年四回季刊のささやかな小冊子だが、少しでも茶道文化の向上の一助になればと、毎号編集のつど前号の反響や、お読み頂いた方からのご意見などを参考にさして頂きながら、スタッフ一同それなりの知恵をしぼっている。

それでも「この程度」の声も素直に頂く。表紙は、これでよいのか。それともほかに適当なものはないのだろうか。説明は、どうつけるか。内容については、独善になつていらないだろうか。少しは参考になつたであろうか。あれもこれもの感がないでもない。

ガイドのページに洩れはないか。というより登載してなかつたものの多さに、編集者の努力の足りなさの反省もしきり。今後とも、いつそのご叱正ご指導をお願いしたい。

「声・情報お寄せください」
編集部では、月鑑等の財団の催しや「文化通心」に関するご感想・ご意見を求めております。FAXでけつこうですので気が付いたことをどしどし投書して下さい。巷でキヤッチャれた面白そうな催しや企画等についてもご一報下さい。めざせ!! 双方向「通心」。

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二
財中條文化振興財団編集部
TEL(087)826-3355
FAX(087)826-2212